KOIZUMI

保存用

取扱説明書（保証書付き）

アトリエ

● デスク

ACD-351N
ACD-359N
ACD-360N
ACD-372N
ACD-373N
ACD-374N

atelier

目　次

1 各部の名称	2
2 付属品	2
3 組立方法	3~5
■デスクの組立方法	
■L型デスクの組立方法	
4 使用方法	6
5 使用上のご注意	6
6 点検と修理が必要なとき	7
7 お客様ご相談窓口	7
8 保証書	7

⚠

このたびはコイズミ学習家具をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●事故防止等、安全のため、「使用上の注意」を必ずお守りいただいてご使用ください。
●お読みになった後は大切に保存していただき、取扱いのわからないときにお役立てください。

この取扱説明書のマークについて　SAFETY INFORMATION

警告 WARNING　説明書中の「警告」は人身事故の原因になる危険を示します。
A WARNING IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN CAUSE INJURY OR DEATH.

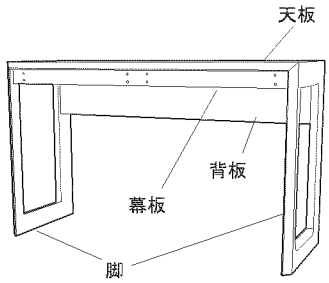
注意 CAUTION　説明書中の「注意」は障害や物的損害の原因になる危険を示します。
A CAUTION IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN DAMAGE EQUIPMENT.

⃠ このマークのついている説明文は必ず守ってください。
KEEP THE NOTICE WITH THIS MARK.

⚠ このマークのついている説明文は特に注意してください。
BE CAREFUL THE NOTICE WITH THIS MARK.

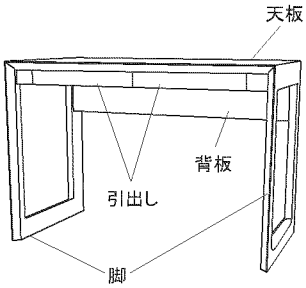
1　各部の名称（イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

■ACD-351N（幅 120cm 奥行 45cm）
■ACD-372N（幅 120cm 奥行 45cm）



■ACD-359N（幅 105cm 奥行 60cm）
■ACD-373N（幅 105cm 奥行 60cm）

※引出し付き

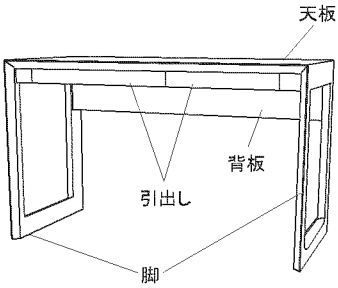


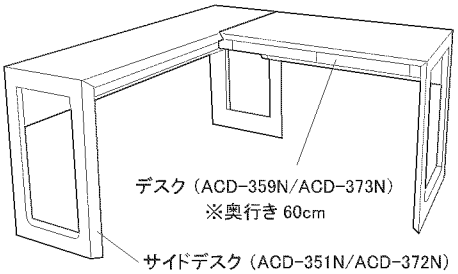
■L型デスク

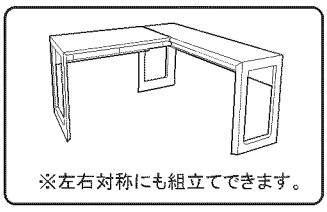
⚠ はじめからL型に組立てる場合もそれぞれ単独で組立を行った後組替えを行なってください。

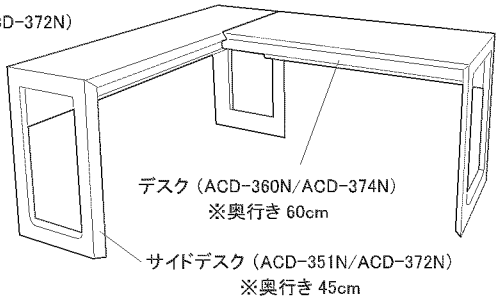
■ACD-360N（幅 120cm 奥行 60cm）
■ACD-374N（幅 120cm 奥行 60cm）

※引出し付き





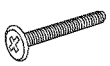
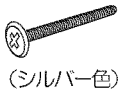
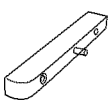




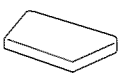
L型デスクは「ACD-351N」「ACD-372N」と「ACD-359N」「ACD-373N」「ACD-360N」「ACD-374N」の組合わせで組立てができます。

2　付属品　（付属品がすべてそろっているかご確認ください。）

■デスク（ACD-351N・ACD-372N）付属品　※（イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

ボルト（M6×35mm）	ボルト（M6×60mm）	丸ナット	ボルト（M6×40mm）	ボルト（M6×90mm）	連結用継木（大）	連結用継木（小）	コード通し蓋	穴隠しキャップ
GKU4BU635	GKU4BU660	GKU4MN617	GKU4BJ640	GKU4BN690	TRB9MP35L	TRB9MP35S	TRB9MP35F	SZC9AC18V SZC9AC18R
			（シルバー色）	 （シルバー色）				
×3	×6	×6	×2	×2	×1	×1	×2	×16

■デスク（ACD-359N・ACD-373N・ACD-360N・ACD-374N）付属品

ボルト（M6×35mm）	ボルト（M6×60mm）	丸ナット	コード通し蓋	穴隠しキャップ
GKU4BU635	GKU4BU660	GKU4MN617	TRB9MP35F	SZC9AC18V SZC9AC18R
				
×3	×6	×6	×2	×8

※枠内の9桁表記は、部品品番となります。穴隠しキャップは、上段がACD-372N・ACD-373N・ACD-374N、下段がACD-351N・ACD-359N・ACD-360N用の部品品番となります。

3　組立方法　（組立は必ず二人以上で行ってください。）

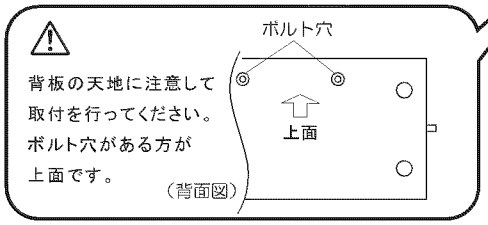
■デスクの組立方法

※(イラストはACD-351N/372N/359N/360N/373N/374N共通の為、現物と異なる場合があります。)

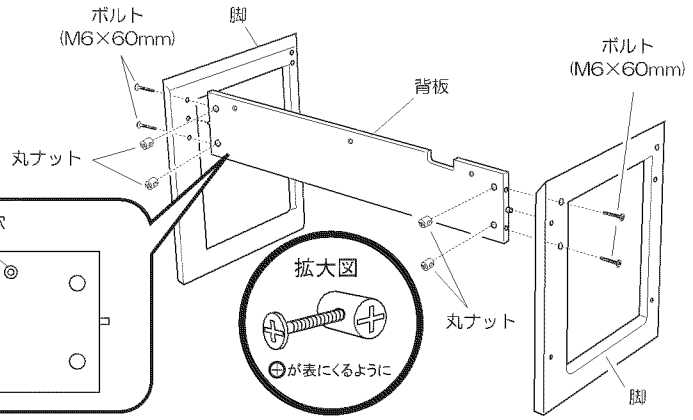
(1)脚と背板の組立

●脚と背板をボルト(M6×60mm)4本と丸ナット4個を用いて固定してください。

ボルト (M6×60mm)	丸ナット
GKU4BU660	GKU4MN617
×4	×4



背板の天地に注意して取付を行ってください。ボルト穴がある方が上面です。

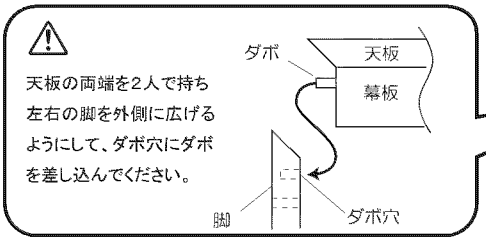


(2) 天板の取付け①(仮置き)

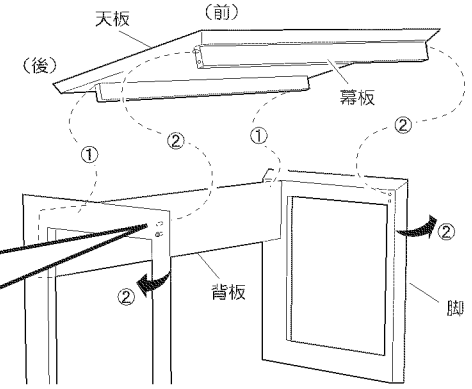
※ACD-359N/360N/373N/374Nは、幕板部分が引出しになります。

①天板の後方を背板に仮置きします。
※天板には前後がありますのでご注意ください。

②天板の前方をゆっくりと下ろします。
このとき、脚を外側に少し押し広げながら、内側のダボ穴に幕板のダボを差し込ん



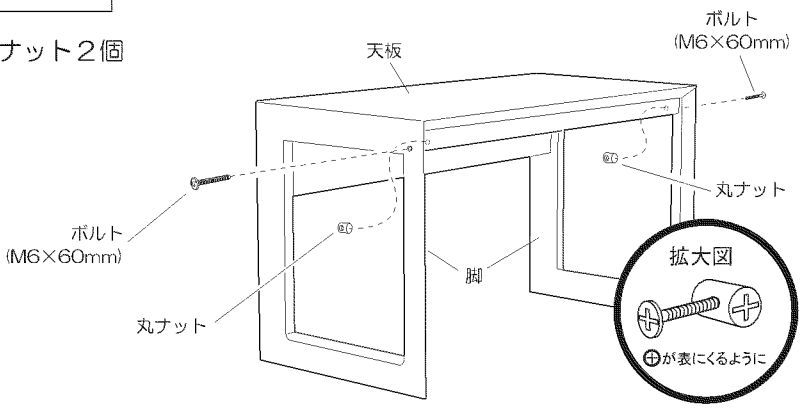
天板の両端を2人で持ち左右の脚を外側に広げるようにして、ダボ穴にダボを差し込んでください。



(3) 天板の取付け②

●脚と天板をボルト(M6×60mm)2本と丸ナット2個を用いて固定してください。

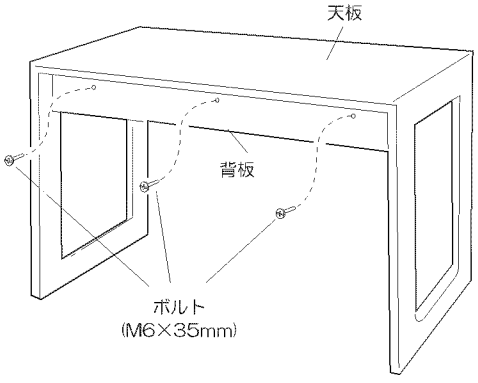
ボルト (M6×60mm)	丸ナット
GKU4BU660	GKU4MN617
×2	×2



(4) 天板の取付け③

●背板と天板をボルト (M6×35mm)3本を用いて 固定してください。

ボルト (M6×35mm)
GKU4BU635
×3

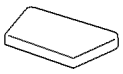


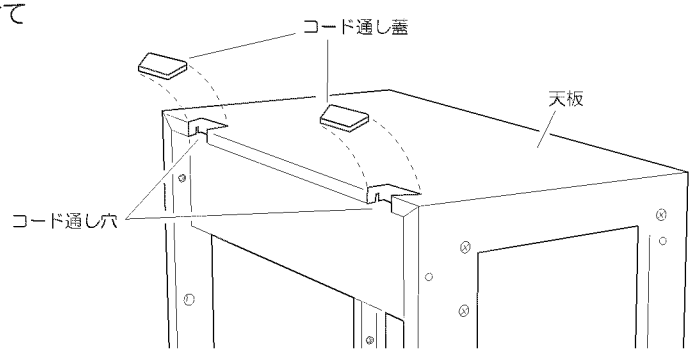
3　組立方法　（組立は必ず二人以上で行ってください。）

■デスクの組立方法　※（イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

(5) コード通し蓋の取付け

●天板後方のコード通し穴に、コード通し蓋を取り付けてください。

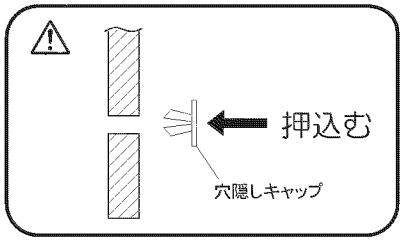
コード通し蓋
DRK9MP35F

×2

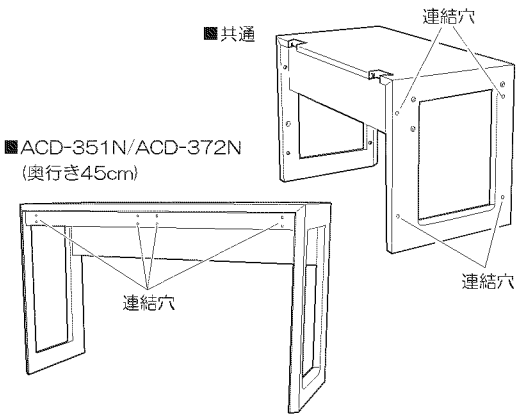


(6) 穴隠しキャップの取付け

●使用していない連結穴等、隠したい穴に穴隠しキャップを取り付けてください。

穴隠しキャップ
SZC9AC18V SZC9AC18R





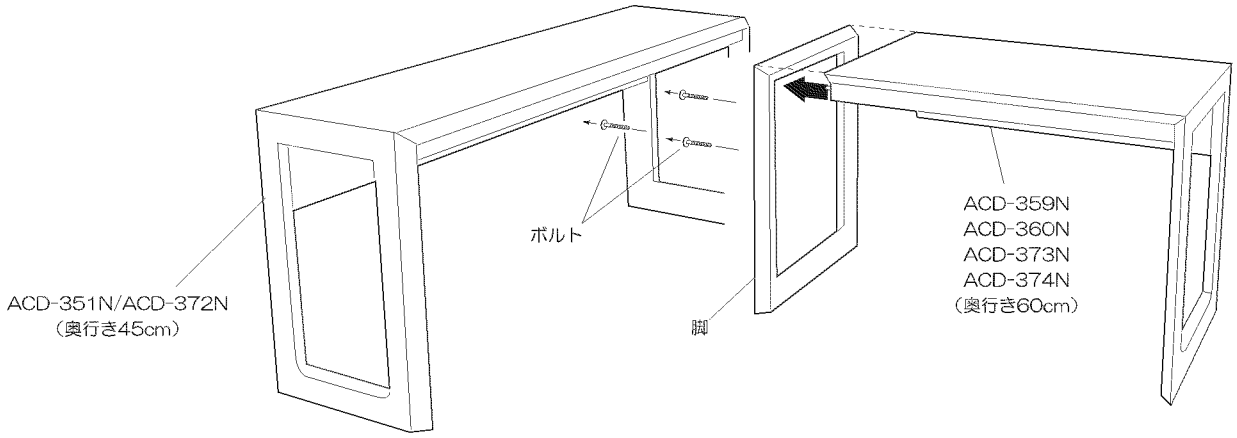
■L型デスクの組立方法　※（イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

(1) 脚の取り外し

①設置位置にデスクACD-351N･ACD-372N(奥行き45cm)を仮置きしてください。

②デスク(奥行き60cm)を近い位置に移動してください。

③一人が天板を支え持ち、もう一人が連結する側のボルト3本を外し、脚を取り外してください。



⚠ 組立ては必ず2人以上で行ってください。

※本図と左右対称にも組立てできます。

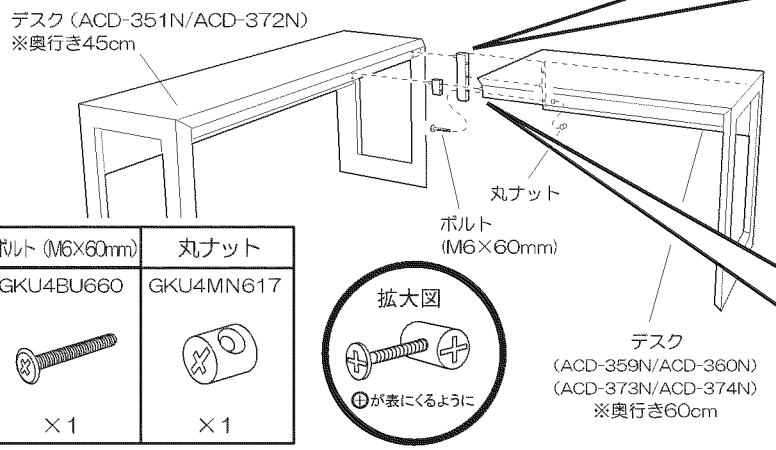
3　組立方法

（組立は必ず二人以上で行ってください。）

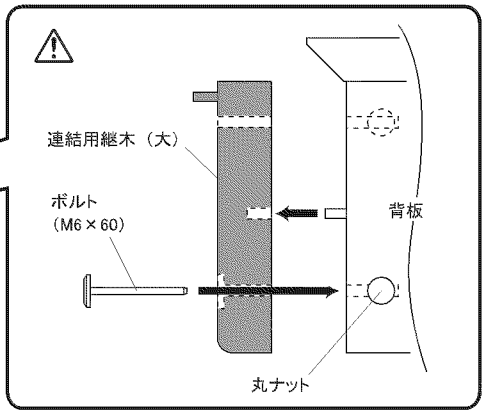
(2) デスクの連結①

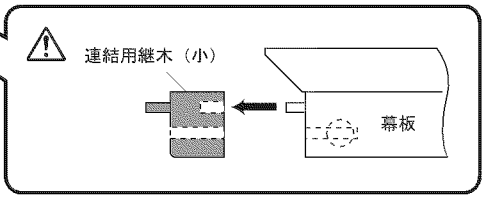
●ACD-359N・360N・373N・374Nの幕板に連結用継木(小)を取り付け、背板に連結用継木(大)をボルト(M6×60mm)１本と丸ナット１個を用いて取り付けてください。

⚠ 組立ては必ず2人以上で行ってください。



ボルト(M6×60mm)	丸ナット
GKU4BU660	GKU4MN617
×1	×1

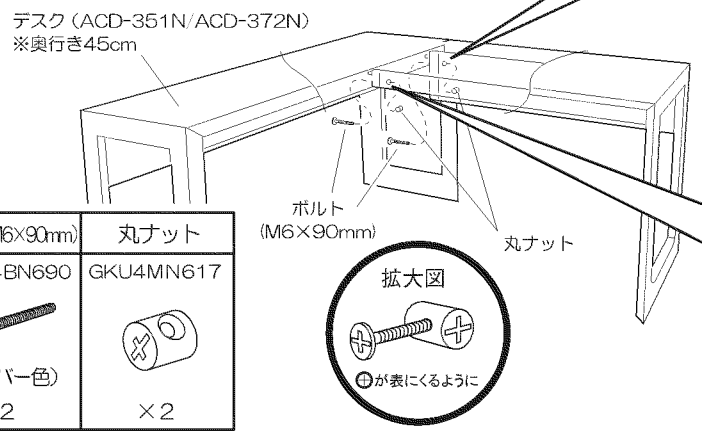




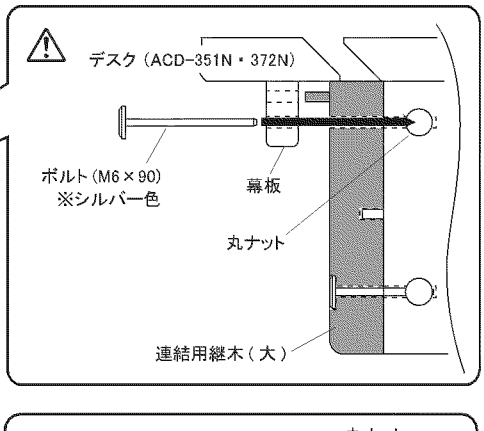
(3) デスクの連結②

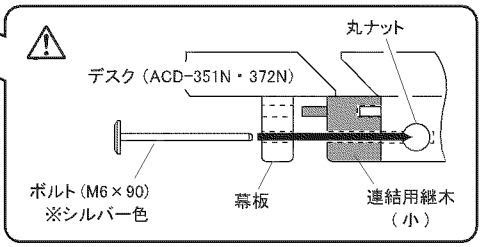
●取り付けた連結用継木をデスク(ACD-351N/372N）幕板にボルト(M6×90mm)２本と丸ナット２個を用いて連結してください。

⚠ 組立ては必ず2人以上で行ってください。



ボルト(M6×90mm)	丸ナット
GKU4BN690	GKU4MN617
(シルバー色)	
×2	×2

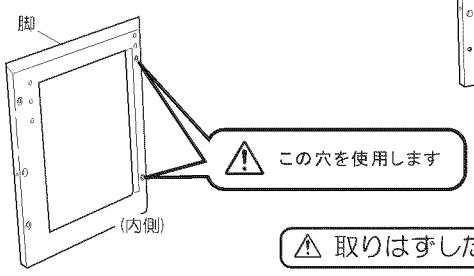


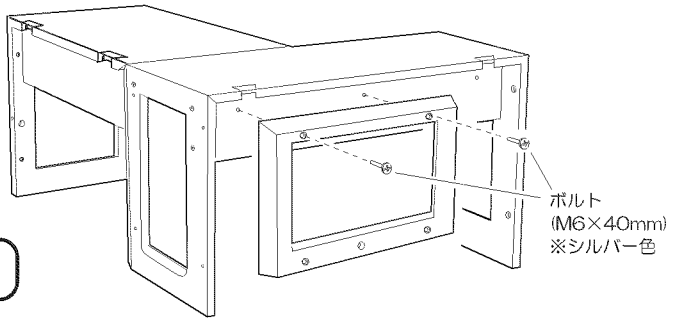


(4) 脚の収納

●連結した際に取り外した片脚はデスク(ACD-351N/372N)の背板に取り付け、収納することができます。

ボルト(M6×40mm)
GKU4BJ640
(シルバー色)
×2





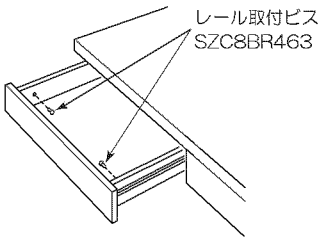
⚠ 取りはずした脚は組替えに必要です。大切に保管してください。

4　使用方法

<引出しのはずし方>

①金属レール

●引出しは、内面のレール取付ビス
2本をはずすと抜き取れます。



<引出し内の耐荷重>

デスク本体引出し…6kg

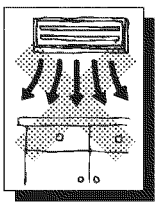
5　使用上のご注意

■家具の置き方

⚠ 警　告

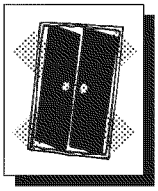
●地震等で家具が倒れ、けがをすることがあるので、建物の壁・床・天井等に固定用金具や固定部材で、しっかり固定してください。また、家具の上にものを置くと、落ちてけがをすることがあるので、置き方にご注意ください。

⚠ 注　意



●高温、多湿の部屋では、空気が滞留するとカビやダニが発生しやすくなり、健康を害することがあります。家具の裏側も空気が流れるよう壁から少し離したり（10cm位が望ましい）、部屋の換気をしてください。

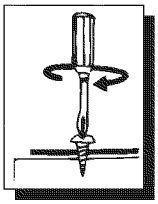
●直射日光や熱・冷暖房器の強風等が直接当たらないようにしてください。家具がゆがんだり、変色したりする原因になることがあります。



●家具は水平を保つように置いてください。ガタツキのまま使っていると、扉の開閉や引出しの出し入れがスムーズでなかったり、家具の強度が落ちる等、家具がこわれたり、けがをする原因になることがあります。

■保守・点検

⚠ 注　意



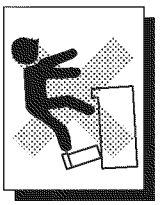
●取付金物等の固定用ネジ類がゆるんでいないか時々点検し、ゆるみはじめたら、しっかりしめ直してください。ゆるんだまま使っていると家具がこわれて、けがをすることがあります。また、家具の移動をした時も点検し、ゆるんでいたら、しめ直してください。

●虫害を発見した場合は、ただちに殺虫や防虫処理をしてください。他から虫が入ったことも考えられるので、放置すると虫害が拡大する恐れがあります。

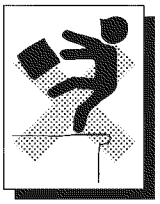
SA·FU
無断転用を禁ず
(社)日本家具産業振興会
☎03-3261-2805

■ご使用にあたって

⚠ 警　告

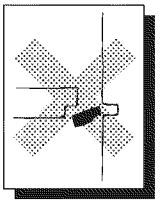


●木材の塗装や接着剤等のにおいが残っている場合、購入後、約2、3週間でにおいが気にならなくなります。換気を十分にして取り除くようにしてください。



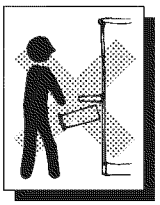
●引出しや引き手の上に乗ったり、扉等にぶら下がったり、むりな力で引張ったりしないでください。家具が倒れてけがをすることがあります。また、扉や引出しを同時にいくつも開けたり、引き出したりしないで下さい。重心が前へ移り、転倒して、けがや破損をすることがあります。

●家具の上でとんだり、踏み台代わりに使ったり不安定な姿勢で掛けたりしないでください。
安定をくずし、倒れてけがをすることがあります。



●キャスター付の場合は、その上に立ったり、すわったまま激しく動かしたり、ぶら下がったり、押して遊んだりしないでください。倒れてけがをしたり、他のものこわしたりすることがあります。

●取りはずしのできる棚は、棚受具を確実に取り付けてください。中途半端な取付けでは棚板がはずれて、ものが落ち、けがや破損をすることがあります。

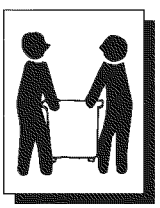


●引出しが付いている場合、これをいっぱいに引き出すと、ぬけ落ちてけがをすることがあります。

●ベッドの上で、とんだり、はねたりしないでください。けがや破損の原因になります。

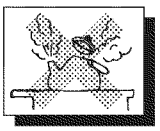
●ベッドのヘッドボード、フットボード、ハイベッドのサイドレールに腰かけたり、乗ったり、はねたり、ぶら下がったり、飛び降りたりしないでください。けが等の事故の原因になります。

●ベッドの上段へあがる時や降りる時は、必ずはしごを使ってください。
けが等の事故の原因になります。



●家具を移動する時は、落としたり倒したりしてものをこわしたり、けがをすることがないように手でしっかり持って運んでください。

●キズ保護シート類として、塩化ビニールシートは使用しないでください。家具の塗装が変色したり、シートの跡が残ることがあります。



●家具の上に、加熱したなべ・やかん等を直接置かないでください。こげや変色の原因になることがあります。

6　点検と修理が必要なとき

●より安全にご使用いただくために次のような異常があったときは電器店にご相談ください。
・コンセントや差し込みプラグが異常に熱いとき
・器具接合部のゆるみやコードの損傷があるとき
●取扱説明書どおりに使用されてもまだ不明な点があるときはお買い上げの販売店にご相談ください。

7　お客様ご相談窓口

商品のお問い合わせ、アフターサービスは、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

◆お客様相談室　〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号　☎06(6658)7382

コイズミファニテック株式会社　〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号

平成23年現在（所在地、電話番号等については変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。）

8　保証書

品番	**ACD-351N, ACD-359N, ACD-360N ACD-372N, ACD-373N, ACD-374N**
お客様	お名前
	ご住所　〒 電話番号（　　）　　—
お買い上げ日	販売店名･住所･電話番号
年　月　日	
保証期間（お買い上げ日より）	
3ヶ年	

＊ご販売店様へ
必ず全項目をご記入のうえお客様にお渡しください。
この保証書は本書に示した期間条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

（お願い）お買い上げ日、販売店名、及び品番のわかる伝票、領収書等がありましたら、ここに貼り付けて、大切に保存してください。

〈無料修理規定〉

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従って**正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には無料修理**をさせていただきます。
①無料修理をご依頼になる場合には**商品と本書をご持参、ご提示のうえお買い上げの販売店にご依頼ください。**
②お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には下記のご相談窓口へご連絡ください。
2．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
②お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源による故障及び損傷
④消耗品の消耗、又はそれによる故障
⑤本書のご提示がない場合
⑥本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、及び字句を書き替えた場合
3．本書は日本国内においてのみ有効です。
4．本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保存してください。

コイズミファニテック株式会社　〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号